

第 1 2 回議会報告会（令和元年 6 月）報告書

令和元年 8 月

那須塩原市 広聴広報特別委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第12回目の開催となった。

今回の開催に至っては、4年間の中で折り返しとなる3年目を迎えたこともあり、議員間の中で、正副議長選も含め各委員会の改選があった。そのため、過去の議会では、議会内の改選があった年の5月議会報告会は班編成等も変わるため、議会報告会は行われていなかった。しかし現在、市民に開かれた議会を目指す本市議会は、市民との様々な意見交換の機会を作り上げる段階にあり、市民に対する議会の姿勢の表れと、信頼の構築、そして市民の参加の機運をあげていくうえでも、意見交換の場は必要と考え、班体制は作らずに行え、議員全員で市民と語り合えるフォーラム形式「議会フォーラム2019」として、少人数のテーブルに分かれ、ワールドカフェ形式を採用し、「なしおふれあいトーク」議会報告会及び意見交換会を市民の参加のもと行った。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

1	第12回議会報告会実施概要	1
2	主な意見及び要望等	2
◆	テーマ1 那須塩原市の魅力を活かすには	2
◆	テーマ2 議会について	4
◆	アンケート自由記入欄の意見及び要望	7
3	第12回議会報告会のまとめと考察	8

1 第12回議会報告会実施概要

開催日時	令和元年6月1日（土） 午後1時30分 ～ 午後4時					
開催場所	東那須野公民館					
参加人数	23人					
担当議員	統括	齊藤 誠之	進行	山形 紀弘	報告	中里 康寛
	各テーブル ホスト	A 星 宏子	B 森本 彰伸	C 中里 康寛		
		D 平山 武	E 齋藤 寿一	F 星野 健二		
		G 田村 正宏	H 小島 耕一			
テ ー マ	1 那須塩原市の魅力を活かすには 2 議会について					

2 主な意見及び要望等

❖テーマ1 那須塩原市の魅力を活かすには

(1) 那須塩原市の魅力とは

○食に関するもの

- ・牛乳生産量が本州一
- ・おいしいカフェ、パン屋さんがたくさんある
- ・農畜産業が盛んで、食べ物が新鮮でおいしい
- ・水がおいしい
- ・乳製品が豊富でおいしい

○アクセス（交通）に関するもの

- ・東京へのアクセスが良い
- ・高速道路のインターがある
- ・道が広く運転しやすい

○人情味（人柄）に関するもの

- ・人柄がよい
- ・あたたかい人柄
- ・市議の皆さんや市民が良くしてくれる
- ・ボランティア活動に対して、協力体制が良い

○自然（環境）に関するもの

- ・空気がきれい
- ・自然が豊か
- ・災害が少ない
- ・那須連山の景観
- ・川の流れがきれい

○商工観光に関するもの

- ・新たに認定された日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」
- ・豊かな温泉、まつり（例：巻狩まつり）、歴史
- ・街の産業バランスが良い
- ・アウトレットがある
- ・いにしえからの巻狩の原野
- ・廃校、空き家の活用（黒板アート）戸田小のカフェアート
- ・スキー、川遊び、ボルダリング、紅葉狩りなどアクティビティが豊富
- ・塩原温泉と皇室（大正天皇）との関係（ロイヤルリゾート力）

○その他

- ・メディアに紹介されるほど魅力がたくさんある
- ・那須塩原クリテリウムがある
- ・素晴らしい芸術家、芸術活動がある
- ・日本遺産と美しい自然、さらに東京からアクセスしやすいということの連携
- ・ALT(Assistant Language Teacher)の全校配置
- ・犯罪が少ない

(2) 魅力を活かすには

○PR 及び発信

- ・市民が気付いていない魅力が多いので、周知、魅力の再発見、情報の共有を図り、人柄を活かした来訪者への PR（交流などを通じて）
- ・SNS（インターネット等）をもっと活用して情報を発信、見てもらえる、目にとまる発信
- ・スポーツ、アート、食、温泉をパッケージにして PR する
- ・塩原温泉と皇室との関係を PR
- ・塩原温泉の渓谷美を外国人に発信
- ・那須塩原市の PR にテレビ CM を使用する

○ツアーの企画

- ・標高差を活かした春巡りツアー
- ・日本遺産の構成施設と温泉を絡めたツアーを企画
- ・観光の名所（日本遺産等）を巡る公共交通の利用をしてはどうか
- ・観光資源をもっと有機的に連携させ、魅力を高める

○食に関するもの

- ・豊かな自然と特産物、地産野菜や果物を売り込む
- ・お米などの農産物において、那須塩原ブランドを確立
- ・牛乳を使った製品に力を入れる
- ・那須塩原市のお米をブランド化する

○環境の整備

- ・インスタ映えするような人工的な構造物を作ってはどうか
- ・日本遺産の関連施設を自転車で周れる整備をする
- ・自然を利用して農業体験のできる施設を作る

○その他

- ・那須塩原市の良さを自慢、発信できる人材を育成する

(1) 市民参画

○意見

- ・ 議員と話すきっかけがない
- ・ 議員は身近な存在である
- ・ 議会での話が面白くない
- ・ 自分の言ったことが実現するとうれしい
- ・ 市民としては、大きな問題がない（問題がないから参画しない）
- ・ 議員に言っても仕方がないと思ってしまう
- ・ 議会フォーラムのように市民の声を直接議員へ届けられる場はよいと思う
- ・ 議場コンサート、議会報告会は評価できる
- ・ 議会フォーラムで市民の声を吸い上げ、市政に届けることはよい
- ・ 議会報告会は有意義である
- ・ 投票率の低さは議員に魅力がないから
- ・ 興味がない市民が多く感じる
- ・ 一般質問の動画を見たがつまらない

○提案及び要望

- ・ 中高生に授業の一環として、議会の傍聴を促してはどうか
- ・ インターネット中継をしているがアクセス数を把握すべき
- ・ 市民による模擬議会を開催してはどうか
- ・ 主権者教育が大切であるので、子ども議会を開催しては
- ・ 議会フォーラムを学校で開催しては
- ・ 市民一人一人が持っている問題は、議会で議論されていることに繋がっていることを伝えるべき
- ・ 子どものうちから市民としての意識をもってもらい、政治に参加する意識を高める
- ・ 議会の一般質問について、傍聴に行けない人やインターネット配信をリアルタイムで見られない人のために、インターネットで映像配信をしているが、もっと早く配信をしてほしい。
- ・ 開催していることを知らない方が多いと思うので、上手に広報してほしい
- ・ 緊張感のある議論、執行部と議会の距離感が必要
- ・ 日曜日・夜間の開催
- ・ 議員一人一人がもっと特色（個性を）出してほしい
- ・ 高校に議会が出向いてアピール
- ・ コミュニティやPTA、民生委員など各種団体と意見交換会をしてはどうか

- ・ WEB をもっと活用し、本会議だけでなく、委員会も動画配信してはどうか
- ・ 市議会をもっと身近に感じる工夫を
- ・ 若い世代（特に 18 歳～22 歳）に議会で何が行われているかを伝える努力をした方がよい
- ・ 議員と市民との話し合う機会を増やす
- ・ 議会側から身近に感じてもらえる環境を整える
- ・ 議会を応援する（サポーター）仕事を作る

（２）なり手不足

○意見

- ・ 手続きが多い
- ・ 議員の仕事がよくわからない市民が多い
- ・ 市長も市議も若い人が多いので、市民と意見交換をして市民を引っ張ってほしい
- ・ 無投票では市が良くならない

○提案及び要望

- ・ 教育の中で公的機関の役割を教える（義務、責任、公助）
- ・ キャリア教育に政治家を呼んで、信念や体験を話してもらう
- ・ 報酬を上げるなどの対策
- ・ 議員を本業として行える報酬が必要
- ・ 魅力ある候補者の発掘
- ・ 調査研究のための十分な金額と透明性の確保
- ・ 男性の意識を変え、女性の議員を増やす
- ・ 若者が立候補しない
- ・ 女性議員が 3 分の 1 以上になるよう努力すべき

（３）議員定数など

（ア）議員定数

○意見

- ・ 少ないと真面目にやらないと思う
- ・ 女性議員が少ない
- ・ 現状維持でよい
- ・ 人数を減らす必要はない（議員の活動が制限されるとともに、一人の責任や役割が多くなるため）
- ・ 約 4,000 人に 1 人の議員だが、全員の声を聴いているわけではないと思う。
大きな声の人（積極的に発信する人）の声は伝わりやすいだろうが、
小さな声にも耳を傾けてほしい

○提案及び要望

- ・ 女性議員の割合を徐々に増やす
- ・ 各分野の専門知識を有する議員を増やしてもよいのではないか
- ・ 自治体の予算の中で議員の報酬がどのくらい占めているのかで考えるべき
- ・ 少ない定数では、議論や審査が不十分になるので多くてもかまわない
- ・ 議員に危機感を持たせるために、定数を減らしてもよいのではないか
- ・ 委員会運営の大切さで考えると余り少なくすべきではない
- ・ 議員定数は適当だと思う
- ・ 議員定数を増やせば女性議員が増えるのでは
- ・ 那須塩原市は広域なので、数が多くてもよい
- ・ 定数は多くてもよいが、その際は報酬を下げるべき
- ・ 幅広い民意をすくい上げるには定数を増やした方がよい
- ・ 立候補者が定数に近づくようであれば定数削減を
- ・ 議員定数は、22 名程度に減らした方がよい

(イ) その他

- ・ 全ての項目（市民参画、なり手不足、議員定数）が密接に関係している
- ・ 議員は勉強不足である
- ・ 一般質問は質問のための質問となっている
- ・ 執行部への質問はプランをもって質問せよ
- ・ 議員報酬に見合った仕事を

❖ アンケート自由記入欄の意見及び要望

○肯定的な意見

- ・ 議会は自信を持って議会の機能強化に取り組んでいただきたい
- ・ 秋のフォーラムを楽しみにしている
- ・ 議員の皆様と直接意見交換ができてとても良かった
- ・ もっと一方的な説明をイメージして来たので、参加型であったことは良かった

○否定的な意見

- ・ 運営側として今日は「成功」なのか？
- ・ 市民の参加が少ない
- ・ 少しあわただしかった
- ・ 参加者に自治会などで自分がやったことを自慢したい人がおり、話が進まず困る

○要望

- ・ 議員からも意見を出して双方で議論する形態が良い
- ・ 市民の知恵を借りるのみではなく、議員の考えを述べて
- ・ 議員さんを補助する市民でありたい。女性議員を多くしてほしい
- ・ 本市には様々な誇れる物があるので、特に歴史的に重要な物件を保全する提言をしてほしい
- ・ 参加者が少なかったので、日程を変更してほしい
- ・ 議員と自治会（コミュニティ）とパイプ役として委員会を設置しては

3 第12回議会報告会のまとめと考察

今回の報告会を振り返るとともに、アンケート結果等を踏まえ、良かった点、改善すべき点などを整理・考察する。

(1)実施体制について

○全議員の参加によるフォーラム形式で実施した

(2)広報活動について

○ポスター掲示依頼（86施設）、チラシの班回覧、市広報誌（5月20日号）及び議会広報紙（5月5日号）への周知記事の掲載

○本庁及び西那須野支所の庁内電子モニターでの掲示（5月13日から5月31日）

○みるメール（イベント情報）及びなすしおばらファンクラブ SNS による情報配信

○各議員による個別の声掛け（議員1人につきポスター5枚、チラシ20枚）

(3)会場設定及び参加者数について

○東那須公民館を会場とした。

○参加者数は、23名となった。班別による議会報告会を実施しなかったため、例年より参加者数が少ない結果となった。

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
開催年月	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5	H30.11	R元.6
参加者数	93	89	91	97	60	70	94	62	66	78	23

(4)当日の進行について

○議会報告委員会（R元.5月 広聴広報特別委員会に再編）において進行等の関係資料を作成し、議員全員協議会を通じて全議員への周知等を行った。

○2部制とし、第1部では議会報告を広聴広報特別委員が行い、第2部の意見交換会については、ワールドカフェ方式を採用し実施した。

○全体の流れについては委員長が説明し、副委員長がファシリテーターを、各グループのホスト役は広聴広報特別委員と前議会報告委員が担った。

また、各グループにサブホスト役の議員を置き、ホストのサポートを行った。

○会場設営はアイランド型とし、参加者数に合わせて1テーブル5名前後（議員を含む）のグループとして8テーブルを用意した。

(ア) 意見交換テーマについて

○2つのテーマを設定した

- ・那須塩原市の魅力を活かすには
- ・議会について（市民参画、なり手不足、議員定数など）

(イ) 時間の配分について

○議会報告 約10分

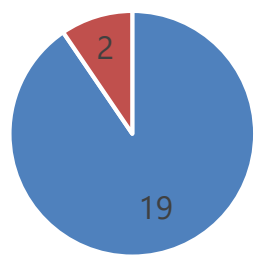
○意見交換 約2時間20分（説明、休憩、発表含む）

(5) アンケート集計結果（回答率 91% 参加者 23名 回答 21名）

問1 那須塩原市にお住まいですか？

○はい **19**名

○いいえ **2**名



■ はい ■ いいえ

問2 年齢についてお答えください

○40代 **3**名

○50代 **4**名

○60代 **6**名

○70代 **6**名

○80代 **2**名



■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代

問3 議会フォーラムは何でお知りになりましたか？（複数回答）

○各戸配布チラシ **4**名

○議会だより **5**名

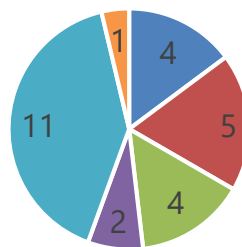
○市広報 **4**名

○ポスター **2**名

○議員・知人からの紹介

11名

○その他 **1**名

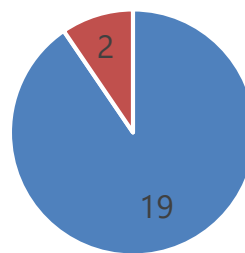


■ チラシ ■ だより ■ 広報
■ ポスター ■ 紹介 ■ その他

問4 今回の議会フォーラムの評価についてお尋ねします

○評価する **19名**

○どちらともいえない **2名**



■ 評価する ■ どちらともいえない

▶理由

○評価する

- ・議員の気付きになる
- ・市民との距離感を縮める取組みはとても大切
- ・楽しかった
- ・議員さんの努力に感謝
- ・良い意見がたくさん出てよかった
- ・運営全体をとおして、もっと丁寧に、優しく、説明されるとよい
- ・市民の声を吸い上げて、市政運営を進めてください
- ・参加者の意見を知ることができた。議員との会話が良かった。
- ・議会傍聴が難しいので、議会と触れ合える機会はとても良い
- ・議会（議員）を身近に感じた

○どちらともいえない

- ・時間が足りない

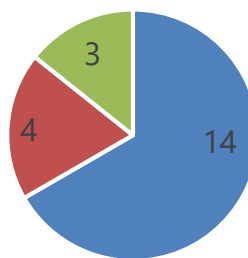
問5 議会フォーラムで取り上げてほしいテーマはありますか

▶自由記述

- 今どのようなことが議会で議論されているのか、それぞれの議員が何に取り組んでいるのかを知りたい
- 地域の問題を見てほしい
- 日々の細かい問題が市政につながっていることがわかるようなテーマ
- 新庁舎建設についての話し合い
- 歴史的な場所の保全に努めてほしい
- 産業の誘致
- 空き家対策
- 交通マナー向上のために何をすべきか？何ができるのか？
- 女性議員を増やすには
- 自転車活用推進法
- 那須塩原市の恵まれた条件のPRに力を入れる

問6 また議会フォーラムが開催されることがあったら参加したいですか

- 参加したい **14** 名
- 日程と時間が
合えば参加したい **4** 名
- 無回答 **3** 名



■ 参加したい ■ 日程と時間が合えば参加したい ■ 無回答

問7 本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等をご記入ください

▶自由記述

○肯定的

- ・ 議会は自信を持って議会の機能強化に取り組んでいただきたいと思います
- ・ 秋のフォーラムを楽しみにしております
- ・ 議員の皆様と直接意見交換ができてとても良かったです
- ・ 令和スタートですから、力を合わせて協力して那須塩原市民として頑張ります
- ・ もっと一方的な説明をイメージして来たので、参加型であったことはとても良かった
- ・ 市政の運営ご苦労様です

○否定的

- ・ 運営側として今日は「成功」なのか？
- ・ 市民の参加が少ない
- ・ ちょっとあわただしかった。参加者に自治会などで自分がやったことを自慢したい人が多々います。話が進まず困ります。

○提案

- ・ 議員からも意見を出して双方で議論する形態が良い
- ・ 市民の知恵を借りるのみではなく、議員の考えを述べて
- ・ 議員さんを補助する市民でありたい。女性議員を多くしてほしい
- ・ 那須塩原市には様々な誇れる物がある！！特に歴史的に重要な物件を保全する提言をしてほしい
- ・ 参加者が少なかったので、日程を変更してください
- ・ 議員と自治会（コミュニティ）とパイプ役として委員会を設置しては！

(6) 市民の皆様からいただいた意見・要望について

今回の議会報告会でいただいた意見・要望等については、議会だより（８月２０日号）にも掲載をしている。各委員会で取り扱いを決めて、今後の活動に活かして行きたい。

(7) 今後の議会報告会について

議会フォーラムについては、はじめにの部分で述べたとおり、市民との交流の場を考え、議員と市民が同じテーマで話し合える場を作るべく、前任の議会報告委員会及び広聴広報特別委員会全員で協議し実施を決定した。

議員全員が一堂に会し、市民と共にテーブルを囲み、ワールドカフェ方式を用いて対話する意見交換会は、参加された市民のアンケートの回答にもあったように、高評価を得ており、議員個人も意見交換で意見を述べられる議会フォーラムの手法は今後も有効な手段であると感じた。

市民との対話は、全国的に見てもどの議会でもクローズアップしており、それぞれの議会で独自の手法で行っていると聞いている。

市民の議会へ対する関心度の向上に大きな効果をもたらすためにも、今後も新たな市民の参画を模索していくのと同時に、これまでいただいている意見を精査し、今後どのような形で取り組み、良い結果を導き出せるように、委員会で協議を重ね検討し、その結果を市民に報告できる体制の確立を目指していきたいと考える。

最後に、市民の皆様の参加と、全議員及び事務局そして、関わられた方々に感謝を申し上げます。



